

## 週1回投与型インスリン製剤 アウィクリ注について

2024年6月に世界初の週1回投与型インスリン製剤であるアウィクリ注フレックスタッチ総量300単位（インスリン イコデク）が製造販売承認されました。この薬は従来1日に1～2回の注射が必要だったBasalインスリンと同じくインスリンの基礎分泌を補充する注射剤で、週1回投与で効果が発揮できる点で画期的です。そこで今回は2025年1月下旬発売のアウィクリ注についてまとめ、表1に当院採用の他の持効型インスリン製剤と比較してみました。

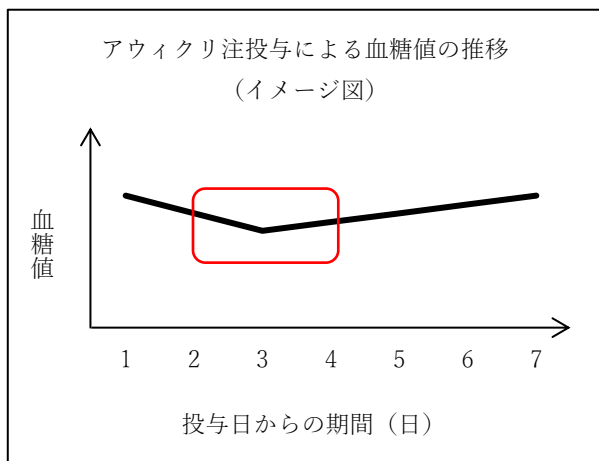
## 特徴

- ・半減期：約7日
- ・血糖降下作用：1週間持続
- ・単位合わせダイアルの1クリック：10単位
- ・初回投与時に1.5倍増量しない場合、初回投与から2～4週間後に定常状態に達する



## 低血糖

投与後2～4日間に低血糖が多く認められる



## メリット

- ・患者さんの利便性向上、負担軽減
- ・血糖コントロールを安定させることで、合併症のリスク軽減

↓  
注射回数を減らしたい人、仕事などで毎日同じ時間に投与できない人などに向いている

## デメリット

Basalインスリンと比較して低血糖の発現が多く、同一患者において複数回発現した場合も多い

↓  
適用を慎重に考慮

表1. アウィクリ注と他の持効型インスリン製剤の比較

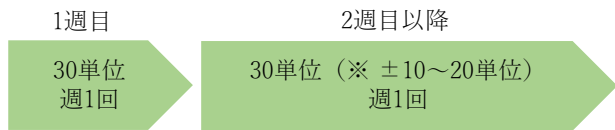
	アウィクリ注 フレックスタッチ	トリーバ注 フレックスタッチ	インスリン グラルギン B S注ミリオペン	ランタスXR注 ソロスター
一般名	インスリン イコデク	インスリン デグルデク	インスリン グラルギン	インスリン グラルギン
メーカー	ノボ ノルディスク ファーマ	ノボ ノルディスク ファーマ	日本イーライリリー	サノフィ
薬価 (規格)	2081円 (300単位1キット)	1976円 (300単位1キット)	1095円 (300単位1キット)	2078円 (450単位1キット)
投与回数	1週間に1回		1日1回	
開封後の使用期間	6週間	8週間	4週間	6週間
空打ち	10単位	2単位	2単位	3単位

# 投与方法

## ●アウイクリ注の新規導入

- ・ 開始投与量：30単位/週～
- ・ 開始投与量は70単位以下を目安とする
- ・ 患者さんの状態に応じて、30単位/週未満からの投与開始も考慮する

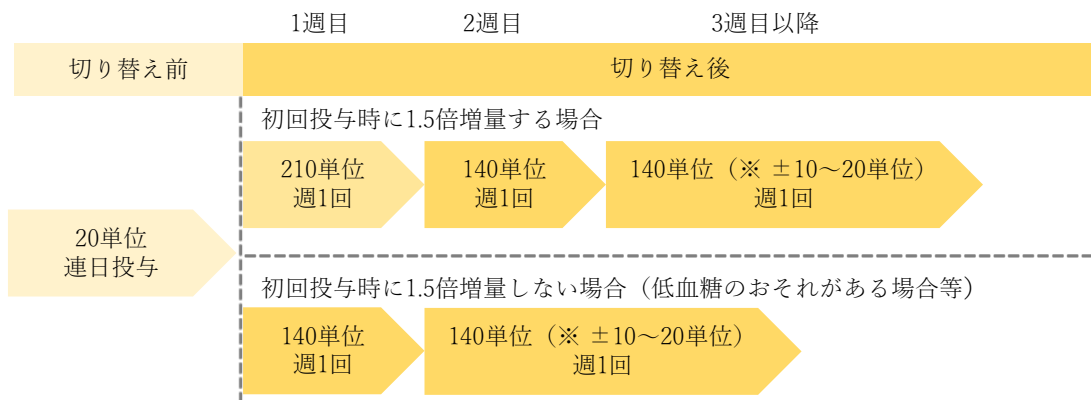
〈例〉30単位/週で開始（※血糖マネジメントに基づいて調節）



## ●従来のBasalインスリン製剤（1日1回投与型）からの切り替え

- ・ 投与量：前治療で使用していたBasalインスリンの1日総投与量の7倍に相当する単位数を週1回投与
  - ・ 切り替える際の血糖値の上昇を回避するため、初回投与時のみ**1.5倍増量**での投与が推奨される
- ※初回投与時に1.5倍増量を行う場合は、2回目以降に誤って1.5倍増量を続けないように注意する

〈例〉連日投与のBasalインスリン20単位から切り替え（※血糖マネジメントに基づいて調節）



### 〈投与を忘れてしまった場合〉

投与を忘れてしまった場合は、気付いた時点で直ちに投与し、その後**4日以上の間隔**をあけてから次の投与を行う。

日	月	火	水	木	金	土
1	2 注射忘れ	3	4	5	6 忘れた分を注射	7
8	9	10	11 新たな開始日	12	13	14
15	16	17	18 注射日	19	20	21

#### 【参照】

各添付文書  
ノボ ノルディスク ファーマ株式会社 アウイクリ注投与ガイド、フレックスタッチの使い方  
インスリンラゲンBS注ミリオペン「リリー」取扱説明書  
ランタスXR注ソロスター取扱説明書  
持効型溶解インスリン製剤、初の「週1回投与」：日経メディカル  
<https://medical.nikkeibp.co.jp/leaf/mem/pub/series/drug/update/202410/586037.html>（2025/1/28閲覧）

薬学部実習生 徳留  
指導薬剤師 下田代